

2月の行事予定

<2月の生活目標>

みんなで使うものを大切にしよう！



日	曜	学校行事	下校時刻						下校バス		
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	13:20	14:50	15:50
1	日										
2	月	CIR スキー学習(高)			14:40				○		
3	火	中学校1日入学(6年) スキー学習(低)	14:35		15:40				○	※○	
4	水	水6日課 スキー学習(高) 職員会議		14:45					○		▲
5	木	CIR スワディ号 スキー学習(低)	14:40	15:40					○	○	
6	金	たてわり読書 スキー学習(高) 児童会⑥	13:40		15:40	○			○		
7	土	※2月3日は6年生は中学校へ一日登校の為、下校バスは中学校から乗車します。									
8	日										
9	月	CIR スキー学習(全)		14:40					○		
10	火	スキー学習(全)	14:40		15:40				○	○	
11	水	建国記念の日									
12	木	CIR スキー学習(低)	14:40	15:40					○	○	
13	金	スキー記録会(予備日は17日)	14:40		15:40				○	○	
14	土										
15	日										
16	月	CIR 研修日		14:40					○		
17	火	スキー記録会(予備日)	14:40	15:40					○	○	
18	水	水6日課 職員会議		14:45					○		
19	木	幕別町教育の日 CIR スワディ号 新1年生1日入学	14:40	15:40					○	○	
20	金	たてわり読書 児童会総会(後期反省)	13:40		15:40	○			○		
21	土										
22	日										
23	月	天皇誕生日									
24	火		14:40	15:40					○	○	
25	水	水6日課 職員会議		14:45					○		
26	木	CIR	14:40	15:40					○	○	
27	金	クラブ⑪⑫ ※1~3年生は午前授業	13:15		15:40	○			○		
28	土										

すでに保護者の方にはお知らせしていますが、2月・3月は授業時数の削減を行っています。
午前授業や5時間授業になる日がありますので、下校時刻およびバス時刻をご確認ください。

ちゅううるい学園 幕別町立忠類小学校 学校便り



しらかば

since 1908



令和8年1月28日発行



雪を楽しみ、凍を拓く～スキー＆スケートでたくましく育つ忠類っ子～

暦の上では、大寒を過ぎ、忠類の野山は美しい雪に包まれています。窓の外に目を向ければ、本校のすぐそばに位置する白銀台スキー場が活気づく季節となりました。この冬も、子どもたちが雪と氷に親しむ「冬のスポーツ学習」が本格的に始まっています。本校の冬の教育活動の大きな特徴は、目の前のスキー場を利用した「スキー学習」と、大樹町のリンクに足を運んで取り組む「スピードスケート学習」の両輪にあります。

スキー学習では、雪山を滑り降りる中で、バランス感覚やスピードを制御する判断力を養うとともに、自然のダイナミズムを全身で享受できるのは、忠類という恵まれた環境に生まれた子どもたちの特権です。また、友達とともに斜面を滑り、励まし合う時間は、冬の豊かな思い出として心に刻まれます。

一方で、昨年度より大樹町のリンクへ場所を移して継続しているスピードスケート学習にも、欠かせない意義があります。十勝の伝統文化であるスケートは、自らの力で氷を蹴り、自律して前へ進む強さを育みます。本格的な競技用リンクという整った環境で氷を切る体験は貴重な機会となっています。

「雪」に親しみ、自然と一体となるスキー。「氷」に挑み、自らの可能性を拓くスケート。この二つのウィンタースポーツを体験できることは、身体の能力の向上はもちろん、この地域の自然環境を多角的にとらえる知恵を育むことにつながります。雪山が近くにあるからこそ、あえてスケートにも取り組む。この「冬の二刀流」の学びこそが、子どもたちの世界をより広く、深くしてくれると思っています。

Vol.569
令和8年
1月号

<https://www.town.makubetsu.lg.jp/kyouiku/gakko/>
忠類 Elementary School



12/23 生活科「おもちゃランド」～1年生に楽しんでもらおう！～

2年生が生活科の学習で、「おもちゃランド」を開催しました。自分たちでおもちゃ作りを体験できるお店を企画し、1年生に楽しんでもらいました。役割を決めて説明の言葉を考えたり、おもちゃ作りの説明ポスターを作ったりと準備を進め、当日は大盛況となりました。招待された1年生は、いろいろなお店を回り、たくさんのおもちゃ作りを楽しんでいました。



スケート学習がんばっています！～北国の冬ならではの学び～

今年度も、大樹町の町営スケートリンクを使用して、スケート学習を行っています。1～3年生の低学年と4～6年生の高学年に分かれて学習を進めており、低学年は3学期の初日からスケートに取り組みました。2月からはスキー学習も始まるため、スケート学習は1月のみの短い期間となります。子どもたちは寒さに負けることなく、元気に氷の上を滑っています。スケートを通して、体力やバランス感覚を養うとともに、冬の自然に親しみながら活動するよい機会となっています。



今年度も短い冬休みとなり宿題ではなくなりましたが、そんな中でも、作品づくりに意欲的に取り組んだ子どもたちがいました。どれも素晴らしい力作ぞろいです。



キラリ☆ 忠類っ子

第46回 全道小学生アイスホッケー選手権大会
帯広地区予選会
【優勝】



さん
さん

おめでとうございます！
これからも頑張ってください！

幕別町児童生徒健全育成標語
「止めるには みているだけじゃ はじまらない」
町が主催する児童生徒健全育成標語の「いじめ防止に関する標語」で6年生の さんが、優秀賞を受賞しました。おめでとうございます！



～課外活動のがんばり～

第47回 全十勝チビッコアイスホッケー
御影大会(A級)
【優勝】

さん・ さん



第45回 全十勝チビッコアイスホッケー
交歓御影大会(C級)
【準優勝】

さん



令和7年度 2回目 ちゅううるい学園 忠類小学校評価 集計結果

No.	評価項目	児童平均		保護者平均		教職員平均	
		2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目
1	児 授業では自分で深く考え、意欲的に取り組んでいる。						
	保 お子さんは、学習に対して意欲的に取り組んでいる。	2.8	3.2	3.6	2.8	3.5	3.1
	教 学校は、子どもの考えを引き出し、ICTを活用したわかりやすい授業を行っている。						
2	児 学んだことを日常の生活に生かすことができる。						
	保 お子さんは、学んだことを日常の生活に生かすことができている。	2.7	3.1	3.7	3.1	3.7	3.4
	教 学校は、既習事項を生かし、工夫しながら生活できるように指導している。						
3	児 「いじめをしない、させない」ように気をつけ、優しい気持ちで仲間と過ごしている。						
	保 「いじめをしない、させない」ように、家庭でお子さんと対話し、思いやる心を育んでいる。	3.3	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6
	教 学校は、「いじめを生まない」ように、思いやりや優しさなど、心を育む指導を行っている。						
4	児 礼儀正しく、自ら進んであいさつや返事ができる。						
	保 お子さんは、礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。	2.8	3.4	3.1	3.1	3.5	3.5
	教 学校は、自ら進んであいさつや返事など、礼儀正しく感謝の気持ちが持てるように指導している。						
5	児 起きる時間・寝る時間・学習時間など、毎日規則正しい生活ができる。						
	保 お子さんは、毎日規則正しい生活ができる。	2.5	3.1	3.7	3.2	3.7	3.4
	教 学校は、規則正しい生活習慣を身につけられるように指導している。						
6	児 学校や家で、自分で進んで体を動かしたり、運動したりしている。						
	保 お子さんは、学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。	3.0	3.6	3.7	3.2	3.8	3.5
	教 学校は、進んで体を動かす運動瞬間を身につけさせるように指導している。						
7	児 将来の夢や目標に向かって努力している。						
	保 お子さんが将来の夢や目標に向かって努力し、地域社会に貢献できるように家庭で対話している。	2.8	3.3	3.6	2.7	3.5	3.4
	教 学校は生徒に寄り添い、将来の夢や目標が実現し、地域社会に貢献できる生徒を育んでいる。						
8	児 自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。						
	保 お子さんは、自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。	3.2	3.8	4.0	3.7	3.5	3.5
	教 学校は、自己肯定感や自己有用感を育み、ふるさとを愛する生徒を育んでいる。						

～考察～

児童の結果から

- 1回目と比較して多くの項目で点数が下がる傾向が見られましたが、いずれの項目も概ね3点前後を維持しており、児童の成長に伴い、自己評価がより現実的・内省的になったことの表れと捉えることができます。「授業で深く考え、意欲的に取り組んでいる」「学んだことを日常の生活に生かすことができる」といった学習面の項目では、学年が進むにつれて学習内容が高度化し、児童自身が学びの深さや活用の難しさを実感するようになったことが影響していると考えられます。これは、学習に対して受け身になるのではなく、自分の理解や思考の質を見つめ直そうとする姿勢が育ってきている表れであり、学びが次の段階に進んでいることを示しています。
- 「いじめをしない、させない」「仲間や家族を大切にする」といった人間関係や情緒面の項目についても、1回目より数値は下がっているものの、依然として比較的高い結果を保っています。これは、児童が友達との関わりの中で理想と現実の違いに気付き、より高い基準で自分自身を評価するようになった結果であり、人間関係をより良くしようとする意識の高まりとして前向きに捉えることができます。
- 生活習慣や運動に関する項目についてでは、基本的な生活リズムや運動習慣が一定程度身についていることは数値から読み取れます。一方で、毎日継続することの難しさを実感し、自分の課題として捉え始めている児童が増えていることも考えられます。

保護者の結果から

- 「家庭でいじめをしない・させないように対話し、思いやりの心を育んでいる」「子どもが自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている」といった人間関係や情緒面に関する項目は、4点満点に近い高い評価となっています。家庭において保護者の方々が日常的な対話や関わりを大切にしながら、子どもの心の成長を支えていただいていることがうかがえ、学校の指導と家庭の教育が連携している成果と考えられます。
- 1回目において相対的に低い評価となっていた学習面や将来に関する項目ですが、2回目では評価が上がっています。「学習に対して意欲的に取り組んでる」「将来の夢や目標に向かって努力できるよう家庭で対話している」といった項目はいずれも高い結果となりました。学校での授業改善や学習のねらいの共有、家庭での声かけや見守りが積み重ねにより、保護者の皆様が子どもの成長を実感する場面が増えてきたことの表れと考えられます。
- 「礼儀正しく、自ら進んであいさつや返事ができる」「毎日規則正しい生活ができる」といった生活習慣や生活態度に関する項目についても、2回目の結果ではより評価が高まっています。依然としてご家庭では課題を感じやすい分野ではあるものの、基本的な生活習慣が徐々に身についていることを、保護者の皆様が前向きに受け止めていただけているという様子がうかがえます。

教職員の結果から

- 学校としての取組や指導の方向性が、教職員間で一定程度共有され、日常の教育実践につながっていると考えます。特に、「いじめを生まないための指導」「自己肯定感や自己有用感を育み、ふるさとを大切にする心を育てる指導」など、人間関係や心の育成に関する項目は高い評価となっています。児童アンケートや保護者アンケートにおいても同様に高い評価が得られていることから、教職員の意図した指導が児童や家庭に伝わり、成果として表れていると考えられます。
- 「分かりやすい授業づくり」や「既習事項を生かした指導」「ICTの活用」といった学習指導に関する項目については、3.1点と全体の中では低く、教職員自身が日々の授業改善に一定の成果を感じているものの、さらなる授業の質の向上や、学びの定着・活用をより実感できる授業づくりを目指していく必要性を、教職員自身が自覚し課題と感じていることが分かります。
- 「規則正しい生活習慣の指導」「運動習慣の定着」「将来の夢や目標に向けた支援」といった項目については、概ね良好な評価となっています。特に、生活面や運動面については、児童・保護者アンケートと同様に成果が見られました。今後も、家庭との連携を含めた継続的な支援を大事に取り組んでいきます。